

各委員のご意見等（順不同）

（一部、質問等については、事務局による回答を記載しております。）

1. レインボーバス等に関するアンケートの結果について

- レインボーバスの延長のご要望がございますが、今後ご検討されるにあたりましては、公共交通機関との役割分担を踏まえ、相互に集客できるような施策をお願いいたします。
- レインボーバスの運賃に対するアンケート調査の結果、運賃を見直すべき（運賃の値上げが必要）との意見が多く見受けられました。レインボーバスの運行経路については、一般路線バスと輻輳する箇所もあることから、一般路線バスと同等の運賃設定にすべきではないかと考えます。
- アンケート結果から見られるように、レインボーバスの利用目的において、買い物や通院など生活になくはならないものとして利用されているため、現状維持の方向で考えるべきだと思います。しかしながら、一方で利用されない方からの不公平感にも配慮して、50円程度の運賃値上げも必要ではないかと思えます。
- 「便数の充実」「運行ルートの見直し」を課題とする人が多いことがよく分かりました。料金については値上げも可とする人がかなりいるのが印象的です。単純に改廃を論ずる前に現状改善の必要を考えたいです。
- 説明資料1「アンケートの結果について」の（14～26ページ）で、『「現状維持」を望む一方、ルートや料金の見直しの必要性を考えていることがわかりました』とあり、引き続きクロス集計なども行われるとのことですが、たとえば集計のカテゴリー分けや分析の方法など、どのように進めようとしているのか、教えて下さい。
（事務局）今回の結果をもとに、世代別や地域別などのクロス集計や乗降客調査などの、より具体的な分析を行いながら、交通会議で協議のうえ、方向性を決める予定です。

- 議題資料1-2「レインボーバス等に関するアンケート調査」のはじめに、『「レインボーバス」のあり方も含め、抜本的な検討が必要な状況であります』と記載されており、今回のアンケートを踏まえ何らかの検討を行うものと考えますが、どのように進めようとされているのか、教えてください。
(事務局)「レインボーバス」網は、路線バスとの輻輳もあることから、これらの配慮を検討しつつ、今般の地域公共交通を取り巻く状況も踏まえながら、そのあり方を検討するものと考えています。

2. 藤沢台七丁目地域の試験運行に向けて

- 試験運行実現を支持します。コロナ禍でなかなか実現しないようなら勉強会、ワークショップを重ねてはどうですか。
(事務局) コロナ禍で公共交通の利用者の減少が続く見込みであることから、「新たな生活様式」を考慮しながらの利用促進方法などの取組みが必要と考えます。地域の実情を踏まえながら、ご質問の勉強会やワークショップも検討の一つとして考えてまいります。

3. 彼方上地区の取り組み状況について

- 新設されるバス等が駅前へ乗り入れられる際は、当社をはじめ関係先とご協議をお願いいたします。
- 彼方上地区も交通会議として強く支援していきたい。これまでの2地区にとられずに彼方上地区の条件にあった取り組みになると良いです。

4. 「地域連携サポートプラン」進捗状況について

- この取り組みは基本的に賛成です。しかし、この内容は交通会議として十分議論していません。会議での合意なしで進めると行きづまるかもしれません。特に運輸局のパターンだけにとられないようにしたいものです。

その他

- 弊社一般路線の現状は、コロナウイルス影響前と比較しまして、直近の5月ではマイナス6割の輸送人員まで激減している中、バスは重要インフラであり、社会安定の維持、三密を避けるため平日ダイヤでの運行を維持、感染拡大防止として車内換気や乗務員のマスク着用、車内消毒等最大限の対策を行ったところ、弊社の運送収入は過去に経験したことのない規模で減少しております。
つきましては、貴市における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の支援計画を策定していただき、弊社バス事業へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。
- 公共交通が今危機的状況です。市として支援しないと大変なことになりかねません。まずは現状の利用者数と経営状況を聞きたいです。

以上